

PETER SCHMIDL + AKIKO SASAKI

Duo | Abend

ペーター・シュミードル(Cl.)・佐々木 秋子(Pf.) デュオアーベント

演奏者プロフィール



ペーター・シュミードル | クラリネット
Peter Schmidl(Cl.)

1941年、オルミュッツ(現チェコのオロモウツ)生まれ。父と祖父は共にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・クラリネット奏者として活躍した。59年、ウィーン国立音楽大学に入学、ルドルフ・イエッテルに師事。65年、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。68年からウィーン・フィルのソロ・クラリネット奏者、2001年から05年までは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のジェネラル・マネージャーをつとめた。教育者としても国際的な音楽祭でマスターコースを受け持っており、タングルウッド・ミュージック・センター、草津夏期国際音楽フェスティバル、フィレンツェ音楽祭などに参加。ウィーン・フィルの一員としてのオーケストラ活

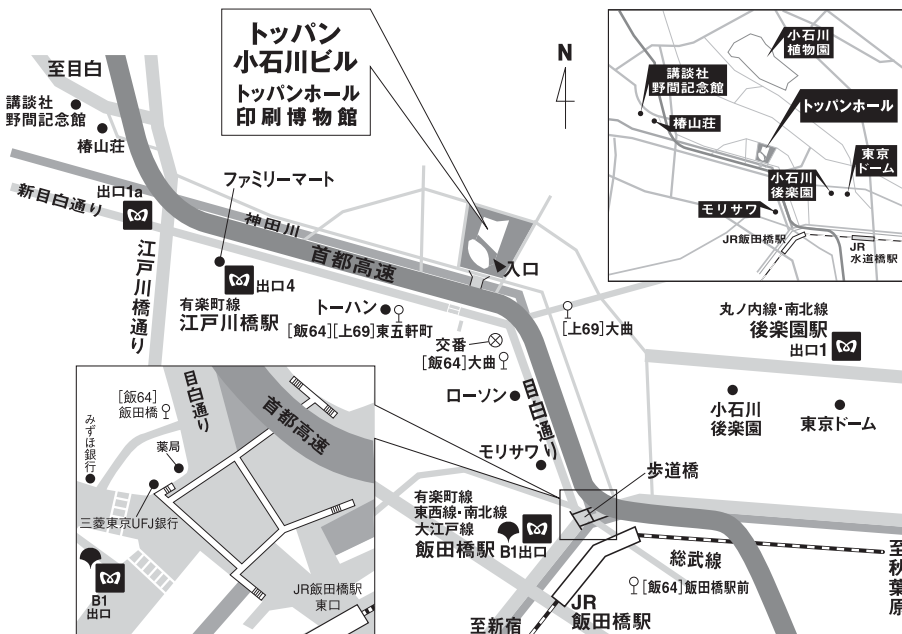
動の他、カラヤンに招かれて過去に25回以上、ベルリン・フィルにソロ・クラリネット奏者として客演している。またウィーン・フィルのメンバーで編成される、新ウィーン八重奏団、ウィーン・フィルハーモニー木管ソリストなど様々な室内楽団に参加し、世界各地でツアーを行っている。ソリストとして、これまでにウィーン・フィルをはじめ、ウィーン室内管弦楽団、トーン・キュンストラ管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、デンマーク国立放送交響楽団などと共演し、レナード・バーンスタイン、クリストフ・フォン・ドホナーニ、アンドレ・プレヴィン、カール・ベーム、ジェイムズ・レヴァインら優れた指揮者と共演している。



佐々木 秋子 ささき あきこ | ピアノ
Akiko Sasaki(Pf.)

4歳よりピアノを始める。
桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。大島正泰氏に師事。
ドイツフライブルク音楽大学大学院に留学。ティボー・ハザイ氏の下で研鑽を積み、同大学院(Aufbaustudium)を首席で卒業。蓼科高原音楽祭賞を受賞。日本室内楽コンクール(DUO)他、国内主要コンクール上位入賞。
1990年のデビュー・リサイタルから本格的に演奏活動を開始。以後、室内楽シリーズ“ムジツィーレン”を主催する。2002年、2004年、2005年と秋吉台室内楽セミナー講師として招かれる。
2007年5月ソロアルバム“SOAR”をハープクラシックスから発売。レコード芸術2007年6月号で準推薦盤に選ばれる。
2008年7月、ウィーン・フィルのソロ・クラリネット奏者ペーター・シュミードルとデュオ・アーベントを行い大成功を収め

る。また、チェロの村井将が加わった室内楽の夕べ“ムジツィーレン”では、ベートーヴェン《街の歌》やブラームス晩年の傑作クラリネット三重奏曲を演奏し観客を魅了する。
2008年9月には、東京国立博物館にて初来日の現代ドイツ楽壇を代表する実力派弦楽四重奏団マンデルリング・クアルテットとブラームスのピアノ五重奏曲を共演する。
2008年11月、2008年8月末までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを務めたウエルナー・ヒンクとデュオ・リサイタルを開き音楽の友2009年1月号誌上で絶賛される。
2009年7月には、シューベルトの4つ即興曲集D.899 & D.935のCDをリリース予定。
ソリストとしての独自性、室内楽におけるアンサンブル・ピアニストとしてのセンスは高く評価されている。



交通のご案内

- 江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
- 飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
- 後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
- 都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車 徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/